



防衛問題ミニセミナーを開催!!

令和8年10月6日（火）、鹿児島県奄美市において、在福岡米国領事館との共催により、鹿児島県の離島に所在する自治体の皆様、沖縄県の自治体の皆様をお招きし、海洋安全保障をテーマに防衛問題ミニセミナーを開催いたしました。

本セミナーには、米国大使館、在那覇米国総領事館、奄美海上保安部、陸上自衛隊奄美駐屯地にもご協力いただきました。

午前は4部構成とし、第1部は、日本の外交・安全保障政策、インド太平洋地域の国際関係・海洋安全保障と幅広く研究されておられる明海大学の小谷教授に「列島線と海洋安全保障」と題し、ご講演いただきました。

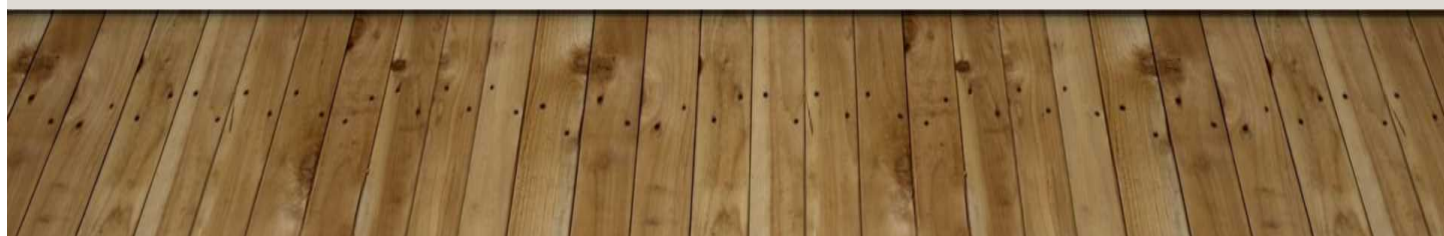
第2部は、中国の対外政策について研究されている九州大学の益尾教授に「中国・新段階の海上行動」と題し、ご講演いただきました。

第3部は、米国大使館のフィッシュウィック氏に「Shared Challenges, Shared Solutions」（共通の課題と解決策）と題し、ご講演いただきました。



第4部では、在那覇米国総領事館のデミング氏の司会進行のもと、小谷教授、益尾教授、フィッシュウィック氏とともに、パネルディスカッションを行っていただきました。

パネルディスカッションでは、自治体の方々から様々な質問や意見があり、活発な意見交換の場となりました。



午後は、陸上自衛隊奄美駐屯地に移動し、駐屯地司令から基地概要をご説明いただいた後、施設見学と装備品見学を実施しました。普段見ることができない駐屯地の中や防衛装備品を間近で見ることができ、展示している装備品を稼働させたりと見ごたえと迫力のある展示となりました。



奄美駐屯地見学のあとは、名瀬港に移動し、海上保安庁の巡視船「あまみ」の見学をさせていただきました。全長約120m、全幅約14mと大型の巡視船で近くで見るとさらに迫力を感じました。



ここ奄美大島には、陸・海・空すべての自衛隊施設がある全国的にもめずしい地域であり、奄美群島をはじめとした鹿児島から沖縄の島々へと続く地域は我が国の安全保障上、重要な地域のひとつです。

自治体の皆様は防衛省・自衛隊及び在日米軍の必要性や活動を地域の方々に伝えていく上で重要なパートナーであり、在福岡米国領事館担当、安全保障の専門家、防衛省職員との意見交換を通じ、安全保障環境への理解を深めていただくことができました。

自治体の皆様におかれましては、ご多忙中のところ、本セミナーにご参加いただきありがとうございました。本セミナーで得られた知見等を今後の行政運営にご活用いただければ幸いです。

これからも防衛省・自衛隊や在日米軍の活動へのご理解・ご協力が得られるよう、様々な取り組みを推進して参ります。